

ほけんだより

いきいき健康推進課 TEL0175-28-5800



子宮頸がん予防ワクチン

の予防接種費用の助成を始めます。

村では、健康づくり事業の一つとして、今年度より中学生女子への「子宮頸がん予防ワクチン」の予防接種費用の助成を開始することとなりました。接種を希望される方には、予防接種に係る費用の全額を助成いたします。

子宮頸がんについて

子宮の頸部（子宮の入口）にできるがんで、日本では年間15000人の女性が発症していると報告されています。

子宮頸がんの原因は、ほぼ100%が「発がん性HPV（ヒトパピローマウイルス）」というウイルスの感染です。皮膚と皮膚（粘膜）の接触によって感染するごくありふれたウイルスで、すべての女性の約80%が一生涯に一度は感染しています。

発がん性HPVには15種類ほどのタイプがあり、その中でもHPV16型・18型は子宮頸がんから多く見つかるタイプです。日本人の子宮頸がん患者の約60%からこの2種類の発がん性HPVが見つかっています。

子宮頸がんワクチンと接種方法

子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性HPVの中でも特に子宮頸がんの原因として最も多く報告されているHPV16型・18型の感染を防ぐワクチンです。

発がん性HPVに感染する可能性が低い10代前半に子宮頸がんワクチンを接種することで、子宮頸がんの発症を効果的に予防できます。

接種方法は半年間に3回の接種を行います。



対象者には、東通中学校を通じて通知及び、説明会を行いました。

今年度は、①集団接種②受託医療機関における個別接種の2通りの方法にて接種を行います。

詳細については、いきいき健康推進課健康ふれあいグループ [28-5800](tel:0175-28-5800) までお問い合わせ下さい。

日本脳炎ワクチンの接種が再開されます

日本脳炎予防接種については、マウス脳由来の日本脳炎ワクチン接種後に重症 ADEM（急性散在性脳脊髄炎）を発生した事例があったことから、定期接種としての日本脳炎ワクチンの接種を差し控えることとし、希望する者に対してのみ、接種を行っておりました。しかし、平成22年1月、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンについて、安全性・供給実績等から積極的な勧奨を行う段階に至り、第1期の標準接種期間に該当する方（平成22年度においては3歳のお子さん）に対して、積極的勧奨を再開することとなりました。

※ 今年度、対象となっている方（平成19年4月2日生～平成20年4月1日生）に、個別通知いたしました。詳細につきましては、通知をご覧ください。

※ 今回、接種対象以外のお子さんについては、来年度以降、順次ご案内いたします。

《問い合わせ》

いきいき健康推進課

健康ふれあいグループ

0175-28-5800

